アイ・シーたんなんだより
公立丹南病院

2020年
新春号
Vol.56

新任のご挨拶

産婦人科科長　髙橋 仁

皆さんはじめまして。２０１９年４月より公立丹南病院産婦人科へ赴任いたしました髙橋仁です。当院へ赴任する前は福井大学に在籍し、周産期（妊娠分娩、胎児など）領域を専門としていました。

当院の産婦人科医師は、30年以上の経験を持つベテランの先生と私の２名になります。地域の総合病院としては最少人数ですが、福井大学産科婦人科から婦人科腫瘍専門医の先生に週に一度外来に来ていただき、手術応援や当直に来ていただいており、十分な人数ともいえます。

外来は月曜から土曜までの午前に行っています。火曜日と金曜日は午後診も行っています。特に専門外来を設けているわけではありませんので、都合の良い日にお越し下されば適宜対応します。

診療の半分くらいは妊娠出産関連となります。病棟には新人からベテランまでの多数の看護師・助産師がおり、皆さんをサポートいたします。分娩室は、移動の必要が無いＬＤＲ（入院から出産後まで過ごせる部屋）となっており、リラックスしてお産に臨める音響システムも備えております（写真参照）。産後のケアにも病院として取り組んでいるため、授乳や育児、ご自身の調子などでお困りの際はスタッフにご相談下さい。

一般婦人科疾患（月経異常、帯下の異常、子宮癌検診、子宮筋腫や卵巣腫瘍や子宮内膜症、更年期の諸問題、子宮脱などその他もろもろ）にも対応しています。婦人科手術では内視鏡を用いた手術を行っています。通常の開腹手術も含め、必要なことはできるだけ対応したいと思います。

もし当院で治療が難しい場合も、福井県中のどの病院とも連携することができます（県外施設との連携も普通に行えます）。福井という土地柄のせいか、県全体の産婦人科医師と顔見知りですので、安心して相談や連携ができます。

当院は丹南地域に唯一の産婦人科のある総合病院です。小児科、麻酔科をはじめ、内科・外科や様々な科と協力し合えるのは当院の強みであります。地域に貢献できる安心安全な医療を提供できるように頑張りますので宜しくお願い致します。

入院から出産後まで同じ部屋で過ごせるLDR

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師について

３階病棟　居関友也

この度、令和元年９月から脳卒中リハビリテーション看護認定看護師として活動させていただくことになりました、３階病棟の居関友也です。

みなさん、脳卒中とはどういった病気かご存じでしょうか。脳卒中とは脳梗塞・脳出血・くも膜下出血の総称です。脳卒中は、がん、心臓病、老衰に次いで日本における死因の第４位、寝たきりの原因１位で、高血圧など生活習慣病とも深いかかわりがあると言われています。

脳卒中になると脳梗塞では、手足がしびれて動かなくなったり、急に目が見えにくくなったり、上手に話せないなどの症状があらわれます。脳出血やくも膜下出血では、突発する頭痛や嘔吐、意識がなくなる、手足が麻痺するといった症状が突然あらわれます。

これらの症状の多くは身体的な後遺症のみならず精神的、社会的な後遺症も大きく、その方の人生を一変させる可能性があります。今後、高齢者の増加に伴い、脳卒中による運動障害や高次脳機能障害、要介護者が増加することが予想されています。

脳卒中予防のためには、主要危険因子である高血圧、糖尿病、不整脈、喫煙、過度の飲酒、高コレステロール血症などの予防・管理と生活習慣の改善が必要です。また脳卒中の治療では発症早期の段階で迅速に受診することも重要です。その中で脳卒中の警告サインであるFAST(ファスト)を知っていただくことも大切です。

FASTとは、Fは顔（Face）で、片側の顔がゆがむ。Aは腕（Arm）で、片側の手に力が入らない。Sは言葉（Speech）で、呂律（ろれつ）が回らない、言葉が出ない。Tは時間（Time）で発症時刻を確認し一刻も早い救急受診を表しています。このFASTは脳卒中警告サインとして、是非覚えていただきたいと思います。

これから脳卒中リハビリテーション認定看護師として、脳卒中看護の質向上と脳卒中再発予防の啓発を行い、患者様とそのご家族がもう一度自分らしいより良い生活が送れるように支援させていただきます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

脳卒中の代表的な症状

激しい頭痛

吐き気

呂律がまわらない

片目が見えづらい

片側の麻痺

院内デイケア、始めました!!

理学療法士　中條有希

今年度より、週に1回入院患者さんを対象に院内デイケアを実施しています。

院内デイケアとは、入院中の患者さんを対象に、日常生活のリズムの回復と活性化のために日中の時間を利用し、看護師やリハビリスタッフによって実施されるレクリエーションです。

入院生活は、患者さんにとって治療や療養のために必要なものですが、普段の生活とリズムが違うことによりストレスが生じやすく、夜間の不眠や情緒の不安定、一時的な認知障害を招く原因になることがあります。そういった方に日中のデイケアへの参加を促すことによって、生活リズムの回復と活性化を図ることを目的としています。認知機能が低下した患者さんはもちろんですが、日中の離床が必要な患者さんや昼夜逆転してしまった患者さんなど、たくさんの方が参加しています。

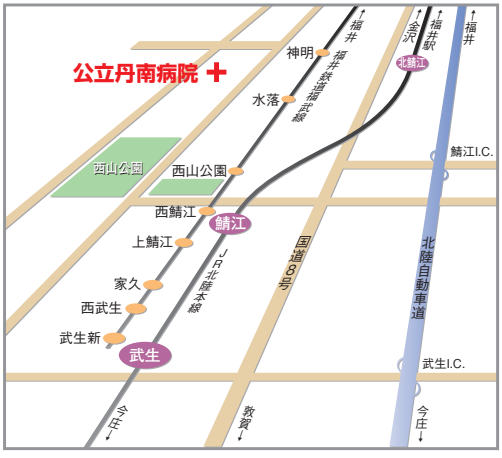
デイケアでは、自己紹介から始まり、座ったままできる体操、クイズ、昔話などの談笑タイム、季節に合わせたレクリエーション活動など、患者さんの状態に合わせて実施しています。天気がいい日にはベランダに出て日光浴や風を感じたり、景色をみたりと、できる限り五感を刺激しながら行える内容になるよう工夫しています。

新しい環境に緊張する患者さんもいらっしゃいますが、少しでも、病室から出て気分転換をしていただけたらと考えています。私たち職員も、日ごろ病棟での生活とは違った患者さんの表情をみることができ、新しい発見や対応の仕方などを学べ、とても楽しく参加しています。

院内デイケアは5病棟のデイケアルーム「えがお」にて、毎週木曜日14～15時に行っています。入院患者さんが、安心して入院生活が送れるように援助させていただきます。

● 公立 丹南病院　https://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/tannan/html/ ●

〒916-8515　福井県鯖江市三六町１丁目2-31　メールアドレス：tannan-info@jadecom.or.jp
TEL：0778-51-2260　FAX：0778-52-8620



公立丹南病院　在宅事業部

居宅介護支援事業所
訪問看護ステーション
〒916-8515　福井県鯖江市三六町１丁目2-31
TEL：0778-52-2050　FAX：0778-52-2151
メールアドレス：tannan-zaitaku@jadecom.or.jp

通所リハビリテーションセンター なごみの里
〒916-8515　福井県鯖江市三六町１丁目2-31
TEL：0778-51-5234　FAX：0778-51-8242
メールアドレス：tannan-nagomi@jadecom.or.jp

通所介護 よつばの里
〒916-8515　福井県鯖江市三六町１丁目2-31
TEL：0778-51-5411　FAX：0778-51-8242
メールアドレス：tannan-yotuba@jadecom.or.jp